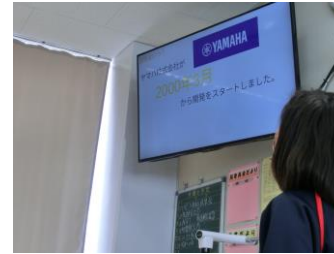
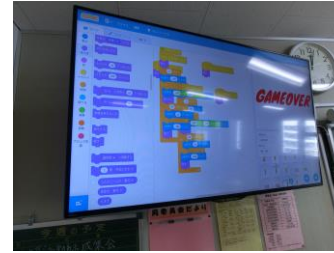


リーディングDXスクール事業【実践事例】

札幌市立中央中学校（札幌市）

【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

【実践例①】 第1学年 特別活動の時間「GIGAでできること発表会」
 新入生（複数の小学校から入学）の情報活用能力実態把握と、今後の授業でGoogleスライドを生徒全員が使用できること、自身のことを仲間に紹介し、自他の個性を理解し尊重できることをねらい、本活動を実施した。生徒は、自分の得意なことや興味のあること、GIGAでできることを仲間に紹介していた（内容は、下記口内参照）。教師が、生徒の情報活用能力の実態を把握できたこと、Googleスライドを各教科共通で使用できるようになったこと、入学当初の仲間づくりや学級づくりの一助となったことが成果である。



【生徒の発表内容】

プログラミングでゲーム作成・Googleスライドで好きなこと紹介・Google earthの使い方・プレゼンテーションの仕方解説・ミュージックラボで曲作り・スプレッドシートの使い方・ジャムボードの使い方・オリジナルクイズ・Googleサイトの作り方・jamboardの使い方・Googleformsの使い方等

【実践例②】 情報活用能力育成指標の作成と活用

パートナーの小学校と協働で9年間で生徒に身に付けさせたい「情報活用能力育成指標」を作成し、定期的に児童生徒にセルフチェックしてもらっている。中学校では、各教科の授業の際に授業者が状況を把握することで、効果的なICTの活用が可能になることや、他教科の取組状況を確認できることにより、教師の中に教科横断的な視点が養われることが期待される。今年度後期の本格的実施を予定している。

情報活用能力育成指標（実施一覧表）

シート「各学年」		情報活用能力育成指標（実施一覧表）									
学年	項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
G O O G L E	1. 基本的な操作（文字入力、図の挿入など）を行う										
	2. 文字の大きさや色を変更する										
	3. アニメーションを用いて発表する										
	4. 聞き手が情報を取り取りやすくなるようにスライドを作成する										
	5. 友達と共同編集しながらスライドを作成する										
	6. フォームやスプレッドシートの情報を活用し、効果的にスライドを作成する										
	7. ...										
	8. ...										
	9. ...										
	10. ...										

情報活用能力の各項目で、実施したものを記録していく
 → 該当学年での指導に役立つ



情報活用能力育成指標（実施一覧表）

シート「各学年」		学習内容・活動内容		10月年度 1年生	11月年度 2年生
E	E	基本的な操作（文字入力、図の挿入など）を行う		実施済	10月
E	E	文字の大きさや色を変更する		実施済	10月
E	C	アニメーションを用いて発表する			
E	C	聞き手が情報を取り取りやすくなるようにスライドを作成する			
D	C	友達と共同編集しながらスライドを作成する			
D	C	フォームやスプレッドシートの情報を活用し、効果的にスライドを作成する			

- ① 生徒の習熟度がわかる→指導計画が立てやすい
- ② 生徒個人にコピーを配付しても効果的

情報活用能力育成指標（実施一覧表）

シート「今年度の実績」		情報活用能力育成指標（実施一覧表）											
項目	達成率	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. 基本的な操作（文字入力、図の挿入など）を行う	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
2. 文字の大きさや色を変更する	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
3. アニメーションを用いて発表する	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
4. 聞き手が情報を取り取りやすくなるようにスライドを作成する	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
5. 友達と共同編集しながらスライドを作成する	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
6. フォームやスプレッドシートの情報を活用し、効果的にスライドを作成する	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

その年度の実績を割合で表示
 → 今年度の実施一覧表が次年度の育成の指標となる

次年度の目標
 （育成指標）